

2007年3月期 第1四半期 決算短信添付資料（決算説明会資料）



当資料取扱上の注意点

将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づき、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見直しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げる事ができます（なおかかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動



2007年3月期 第1四半期実績

■ 業績ハイライト

国内たばこ事業における駆け込み需要の発生により、増収・増益

(単位:億円)

	2006年3月期 第1四半期	2007年3月期 第1四半期	増減
税込売上高	11,510	12,895	1,385
税抜売上高	4,927	5,445	517
EBITDA	1,158	1,341	182
営業利益	855	1,020	165
経常利益	843	1,035	191
四半期純利益	475	762	287

3



2007年3月期 第1四半期の進捗 (国内たばこ事業)

■ 価格帯別競合状況の変化

1箱当たりの小売定価

～2006年6月末

	JT	PMI	BAT
330		Parliament	
320			
310			
300	D-spec Camel	Marlboro Virginia Slims	Lucky Strike Kool
290			
280	Seven Stars Cabin Hope Peace		
270	Mild Seven Caster Winston	Lark Philip Morris	Kent
260			
250			Pall Mall

2006年7月～

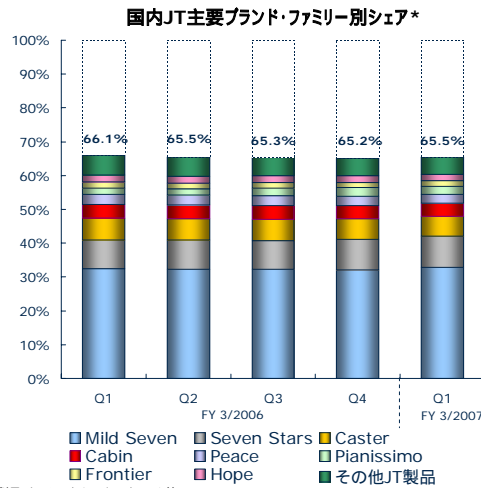
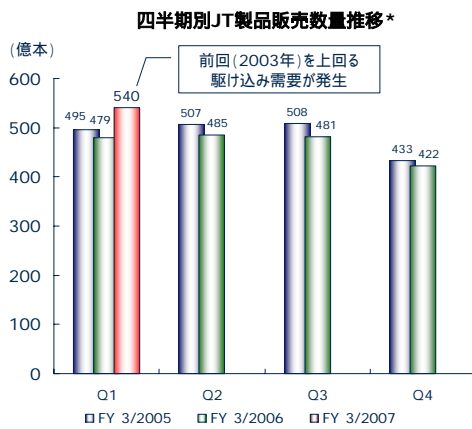
	JT	PMI	BAT
350		Parliament	
340			
330			
320	D-spec Camel	Marlboro Virginia Slims	Lucky Strike Kool
310			
300	Mild Seven Seven Stars Cabin Hope Peace	Lark	Kent
290	Caster Winston	Philip Morris	
280			
270			Pall Mall

4



2007年3月期 第1四半期の進捗 (国内たばこ事業)

- 2006年7月の増税に伴う駆け込み需要が大きく発生するも、需給に支障をきたすことなく、7月以降の新たな競争に万全の体制で臨む



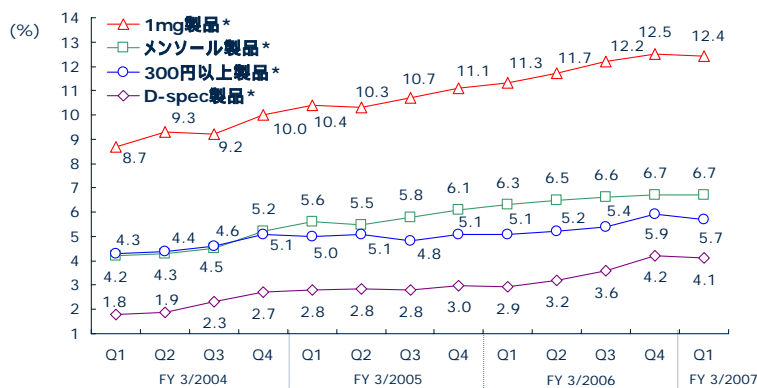
*新ベース = JTオリジナルブランド + JTIの国内向け製品 (キャメル・ウイinston・セラム等)

5



2007年3月期 第1四半期の進捗 (国内たばこ事業)

- 中核ブランドの価値向上
マイルドセブン・ファミリー5銘柄のデザインを変更
- 伸張セグメントへの効果的なアプローチ
D-spec製品の市場浸透活動を継続



*新ベース = JTオリジナルブランド + JTIの国内向け製品 (キャメル・ウイinston・セラム等)

6



2007年3月期 第1四半期実績 (事業セグメント別)

国内たばこ事業

増税前の一時的な駆け込み需要の発生により増収・増益

海外たばこ事業

スペイン市場での価格競争の影響を受けるも、前年を上回る実績 (単位: 億円)

	2006年3月期 第1四半期	2007年3月期 第1四半期	増減
国内たばこ事業 税売上高	2,977	3,387	409
国内たばこ事業 EBITDA	803	1,010	206
国内たばこ事業 営業利益	596	815	219
海外たばこ事業 税売上高	1,065	1,190	125
海外たばこ事業 EBITDA	248	259	10
海外たばこ事業 営業利益	195	185	10

(参考) JTへのロイヤリティー支払い前 (単位: 百万ドル)

海外たばこ事業 EBITDA	243	249	7
----------------	-----	-----	---

比較可能ベース: 日本市場移管影響を除く

(注) 海外たばこ事業実績は2006年1-3月期を連結

7



2007年3月期 第1四半期実績 (事業セグメント別)

医薬事業

臨床開発品目 (2006年7月31日現在)

開発名	適応症	開発段階
JTT-705 (経口)	脂質代謝異常	国内: Phase1
JTT-130 (経口)	高脂血症	国内: Phase2 海外: Phase2
JTK-303 (経口)	抗HIV	国内: Phase1
JTT-302 (経口)	脂質代謝異常	海外: Phase1
JTT-305 (経口)	骨粗鬆症	国内: Phase1 海外: Phase1
JTT-551 (経口)	2型糖尿病	国内: Phase1
JTT-552 (経口)	高尿酸血症	国内: Phase1

高脂血症治療薬「JTT-130」の海外臨床試験がPhase2へ

骨粗鬆症治療薬「JTT-305」の海外臨床入り

高尿酸血症治療薬「JTT-552」の国内臨床入り

(単位: 億円)

	2006年3月期 第1四半期	2007年3月期 第1四半期	増減
売上高	136	117	18
EBITDA	8	12	21
営業利益	0	20	20

8



2007年3月期 第1四半期実績 (事業セグメント別)

■ 食品事業

(単位:億円)

	2006年3月期 第1四半期	2007年3月期 第1四半期	増減
売上高	691	702	11
EBITDA	24	35	10
営業利益	10	19	8



ルーツ「アロマブラックボトル」



「お弁当大人気！」シリーズ
「ミニ春巻」



「いまどき和膳」シリーズ
「れんこんはさみ揚げ」

9



(参考) 2007年3月期 業績予想 (2006年4月28日公表)

(単位:億円)

	2006年3月期 実績	2007年3月期 見込	増減
売上高	46,376	47,700	1,323
EBITDA	4,333	4,090	243
営業利益	3,069	2,700	369
経常利益	2,978	2,670	308
当期純利益	2,015	1,790	225
ROE(%)	12.4	9.7	2.7
FCF	1,455	3,250	1,794

【国内たばこ事業の前提条件】

(単位:億本)

JT製品販売数量	1,894	1,780	114
----------	-------	-------	-----

7月の増税に伴う定価改定は全銘柄1本1円(単純価格転嫁)を前提

10



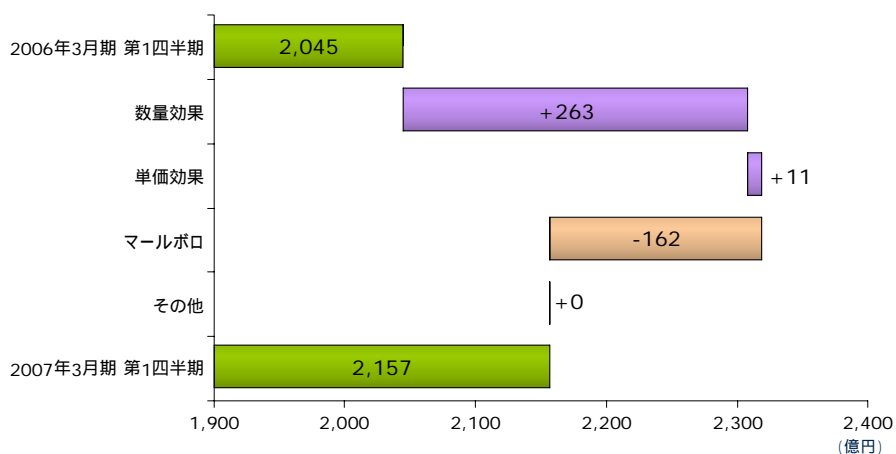
【参考資料】

2007年3月期 第1四半期実績における増減要因の分析



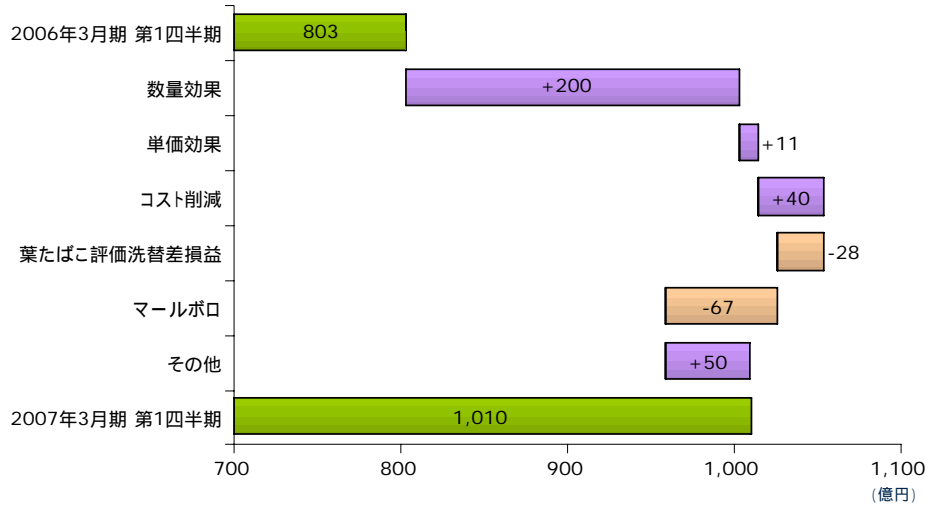
2007年3月期 第1四半期実績

■ 国内たばこ事業税抜売上高（輸入たばこを除く）



2007年3月期 第1四半期実績

国内たばこ事業EBITDA

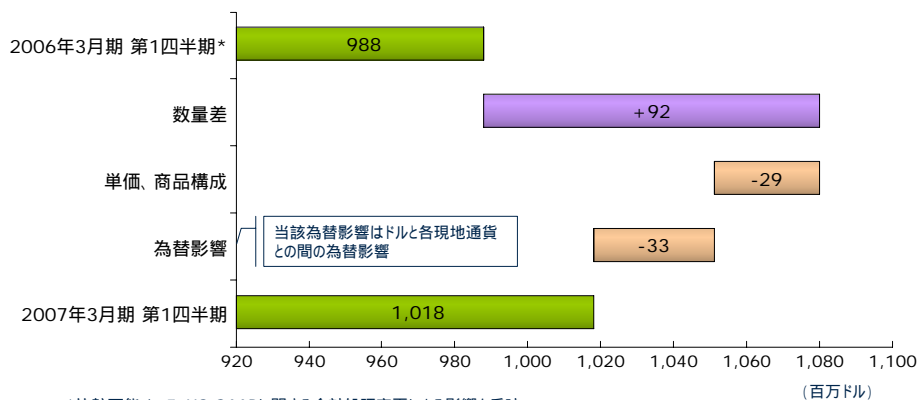


13



2007年3月期 第1四半期実績

海外たばこ事業税抜売上高



*比較可能ベース:US GAAPに関する会計処理変更による影響を反映

(参考)セグメント情報ベース

海外たばこ事業税抜売上高 1,065億円 1,190億円 (125億円増)

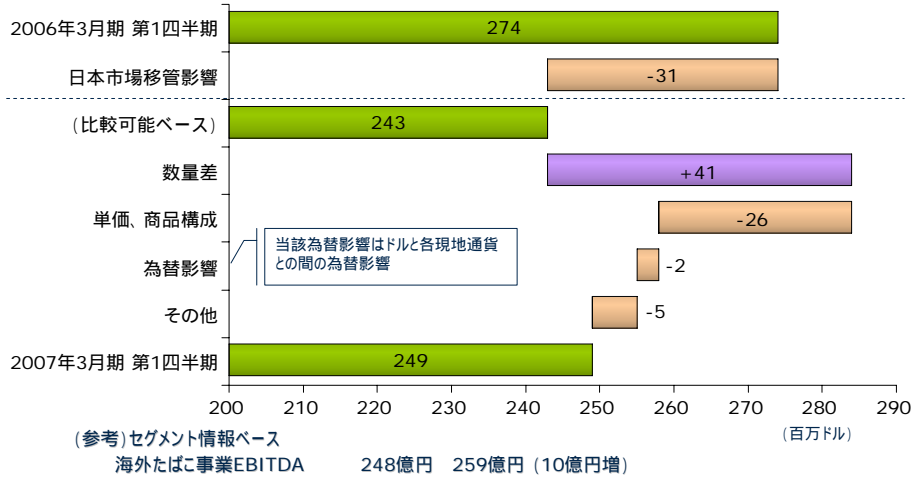
14



2007年3月期 第1四半期実績

■ 海外たばこ事業EBITDA (JTへのロイヤリティ支払前)

比較可能ベース: 243 百万ドル 249 百万ドル (対前年+2.5%の増加)

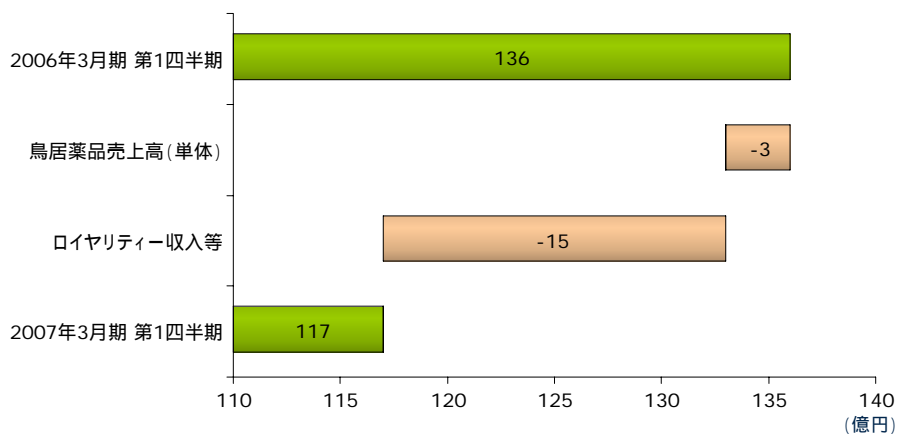


15



2007年3月期 第1四半期実績

■ 医薬事業売上高

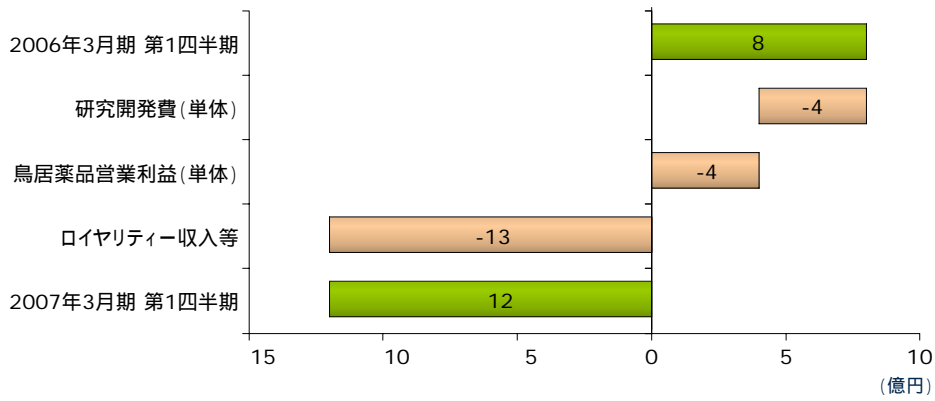


16



2007年3月期 第1四半期実績

■ 医薬事業EBITDA

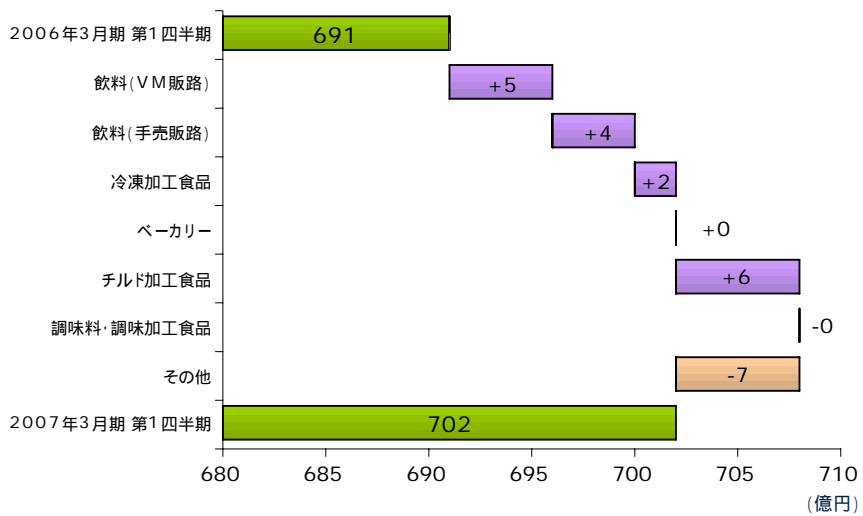


17



2007年3月期 第1四半期実績

■ 食品事業売上高

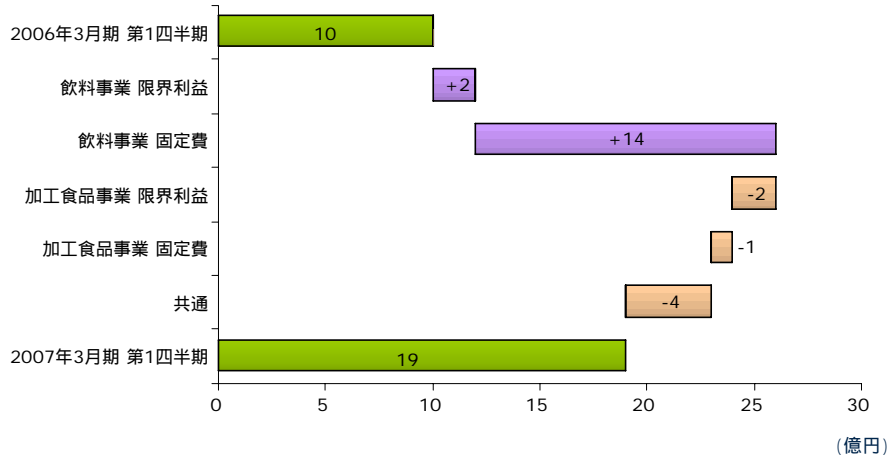


18



2007年3月期 第1四半期実績

■ 食品事業営業利益

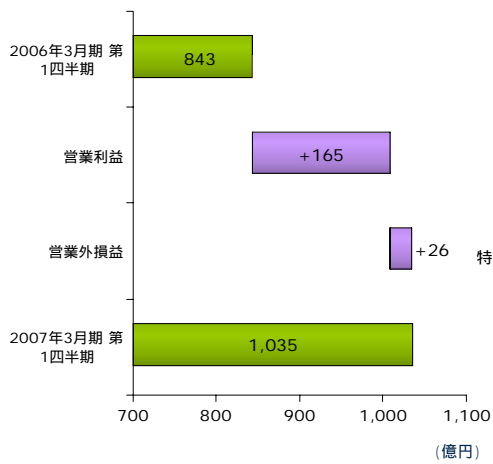


19

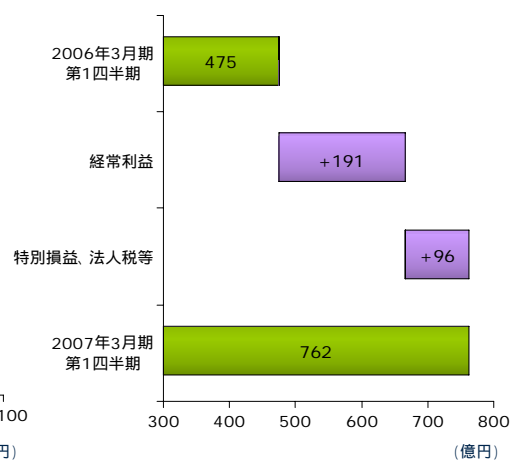


2007年3月期 第1四半期実績

■ 経常利益



■ 当期純利益



20



2007年3月期 第1四半期 決算データ集

1. 売上高の内訳

(単位: 億円)

	05年4-6月期	06年4-6月期	増減
全社税込売上高	11,510	12,895	1,385
国内たばこ事業	8,656	9,852	1,196
除く輸入たばこ	6,004	6,394	389
海外たばこ事業	1,968	2,175	206
全社税抜売上高(除く輸入たばこ)	3,995	4,216	220
国内たばこ事業	2,045	2,157	112
海外たばこ事業	1,065	1,190	125
医薬事業	136	117	18
食品事業	691	702	11
飲料事業	465	475	10
加工食品事業	225	227	1
その他事業	57	46	11

海外たばこ事業は、1-3月期の実績

2. 葉たばこ評価洗替差損益(注)

(単位: 億円)

	05年4-6月期	06年4-6月期	増減
葉たばこ評価洗替差損益	0	28	28

(注): マイナス表示の場合は評価益

3. 販売費及び一般管理費の内訳

(単位: 億円)

	05年4-6月期	06年4-6月期	増減
販売費及び一般管理費	1,506	1,382	123
人件費(注)	394	378	16
広告宣伝費	61	47	13
販売促進費	334	267	66
研究開発費	94	100	5
減価償却費	132	142	9
その他	488	446	42

(注): 人件費 = 報酬・給料手当 + 退職給付費用 + 法定福利費 + 従業員賞与 + 賞与引当金繰入額

4. 事業セグメント別EBITDA(注1)

(単位: 億円)

	05年4-6月期	06年4-6月期	増減
全社EBITDA	1,158	1,341	182
営業利益	855	1,020	165
減価償却費(注2)	303	320	17
国内たばこ事業EBITDA	803	1,010	206
営業利益	596	815	219
減価償却費(注2)	207	194	12
海外たばこ事業EBITDA	248	259	10
営業利益	195	185	10
減価償却費(注2)	53	74	21
医薬事業EBITDA	8	12	21
営業利益	0.3	20	20
減価償却費(注2)	8	7	0
食品事業EBITDA	24	35	10
営業利益	10	19	8
減価償却費(注2)	14	16	2
その他事業EBITDA	53	49	4
営業利益	18	19	0.9
減価償却費(注2)	35	29	5

(参考)

(単位: 百万ドル)

海外たばこ事業EBITDA (ロイヤリティ支払前)	274	249	25
------------------------------	-----	-----	----

(注1): EBITDA = 営業利益 + 減価償却費(注2)

(注2): 減価償却費 = 有形固定資産、無形固定資産、長期前払費用及びのれんの償却費

海外たばこ事業は、1-3月期の実績

5. 主要投資案件の諸償却費

(単位: 億円)

	05年4-6月期	06年4-6月期	償却年数	終了
JTインターナショナル	83	83	-	-
商標権(JT保有分)	73	73	10年	09年4月
特許権(JT保有分)	9	10	8年	07年4月
のれん(注)	-	2	20年	25年3月
ジャパンタバコ	0	2	5年	11年3月
のれん	0	2	5年	11年3月

(注): USGAAPにおける減損会計の導入により、2002年3月期をもって、JTインターナショナルにおける定期・定額のもの償却は終了。以降は毎年、減損テストを行った上で、減損金額を決定している。

6. 資本的支出

(単位: 億円)

	05年4-6月期	06年4-6月期	増減
資本的支出	237	205	32
国内たばこ事業	430	102	327
海外たばこ事業	29	57	28
医薬事業	5	7	1
食品事業	11	14	2
その他事業	23	24	1

7. 手元流動性(注)

(単位: 億円)

	06年3月末	06年6月末	増減
手元流動性	9,796	10,761	965

(注): 手元流動性 = 現預金 + 有価証券 + CP現先

8. 有利子負債(注)

(単位: 億円)

	06年3月末	06年6月末	増減
有利子負債	2,166	2,247	81

(注): 有利子負債 = 短期借入金 + 社債 + 長期借入金

9. 主な事業関連計数

【国内たばこ事業】	05年4-6月期	06年4-6月期	増減
JT販売数量(注)	505	540	35
国内総需要	725	826	100
JT販売数量シェア	69.6%	65.5%	4.1%pt
JT千本当税込売上高	11,715	11,663	52
JT千本当税抜売上高	3,901	3,852	49

(注): JT販売数量には国内免税販売分及び中国事業部分を含まない。当該数量は、2006年4-6月期8億本、2005年4-6月期8億本。

【海外たばこ事業】	05年1-3月期	06年1-3月期	増減
販売数量	490	521	31
GFB販売数量	303	324	21
連結円ドルレート	104.55	116.98	12.43

【医薬事業】	05年4-6月期	06年4-6月期	増減
ピラセプトロイリテイ収入	12	9	2
研究開発費(単体)	47	52	4

【食品事業 - 飲料事業】	06年3月末	06年6月末	増減
自動販売機台数(注)	237,000	243,000	6,000
うちマーケティング機	40,500	40,000	500
うちコンビニ機	61,500	63,000	1,500

(注): 自動販売機台数には、関係会社が運営する他社機(缶・ブリック等)及びカッパ機を含む。「マーケティング機」とは当社所有の自動販売機を指し、「コンビニ機」とは関係会社所有で他社の製品も取り扱いながら、JT製品の露出を積極的に行う自動販売機を指す。

国内JT製品データ集

(注1): 表中の数値には中国、香港、マカオ市場および国内免税市場販売分は含まれておりません。

(注2): 従来ベース: JTオリジナルブランド + 2005年4月末までのマールポロ + 2005年5月以降のJT1の国内向け製品(キャメル・ウィンストン・セラム等)
 新ベース: JTオリジナルブランド + JT1の国内向け製品(キャメル・ウィンストン・セラム等)

国内たばこ事業関連係数

1. 四半期別販売数量

(単位: 億本)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	542	556	556	477	2,132
2005年度	505	485	481	422	1,894
2006年度	540				

(注): 上記の数値には、2005年4月末までのマールポロ販売数量及び2005年5月以降のJT1の国内向け製品(キャメル・ウィンストン・セラム等)の販売数量を含みます。

2. 四半期別定価代金

(単位: 億円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	7,480	7,670	7,675	6,589	29,416
2005年度	6,947	6,642	6,582	5,780	25,952
2006年度	7,403				

(注1): 販売定価代金 = 販売数量 × 小売定価

(注2): 上記の数値には、2005年4月末までのマールポロ販売数量及び2005年5月以降のJT1の国内向け製品(キャメル・ウィンストン・セラム等)の販売数量を含みます。

3. 四半期別千本当売上高

(単位: 円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	11,754	11,755	11,752	11,765	11,756
2005年度	11,715	11,653	11,657	11,667	11,674
2006年度	11,663				

(注1): 本項目では、販売定価代金から販売店マージン、消費税を差し引いたものを売上高としております。

千本当売上高 = (販売定価代金 - 販売店マージン - 消費税) / 販売数量 × 1,000

(注2): 上記の数値には、2005年4月末までのマールポロ販売数量及び2005年5月以降のJT1の国内向け製品(キャメル・ウィンストン・セラム等)の販売数量を含みます。

4. 四半期別千本当税抜売上高

(単位: 円)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	3,940	3,942	3,937	3,946	3,941
2005年度	3,901	3,845	3,849	3,857	3,864
2006年度	3,852				
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	3,844	3,844	3,840	3,845	3,843
2005年度	3,845	3,846	3,849	3,857	3,849
2006年度	3,852				

(注): 本項目では、販売定価代金から販売店マージン、消費税を差し引いたものを売上高としております。

千本当税抜売上高 = {販売定価代金 - 販売店マージン - 消費税 - たばこ税(国税) - たばこ税(地方税) - たばこ特別税(国税)} / 販売数量 × 1,000

5. 四半期別シェア

(単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	73.0	73.0	72.7	72.7	72.9
2005年度	69.6	65.4	65.3	65.2	66.4
2006年度	65.5				
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	66.7	66.6	66.4	66.1	66.5
2005年度	66.1	65.5	65.3	65.2	65.5
2006年度	65.5				

伸張セグメントシェア

1. 四半期別タール1mgセグメントシェア

JT タール1mg製品市場シェア

(単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	8.3	8.2	8.6	8.9	8.5
2005年度	10.6	11.7	12.2	12.5	11.7
2006年度	12.4				
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	10.4	10.3	10.7	11.1	10.6
2005年度	11.3	11.7	12.2	12.5	11.9
2006年度	12.4				

セグメント内シェア

(単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期
2004年度	47.5	46.9	47.3	47.5
2005年度	55.7	60.4	60.8	61.6
2006年度	61.3			
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期
2004年度	59.6	58.6	59.0	59.4
2005年度	59.7	60.4	60.8	61.6
2006年度	61.3			

2. 四半期別メンソールセグメントシェア

JT メンソール製品市場シェア

(単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	8.6	8.6	9.0	9.3	8.9
2005年度	8.1	6.5	6.6	6.7	7.0
2006年度	6.7				
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	5.6	5.5	5.8	6.1	5.7
2005年度	6.3	6.5	6.6	6.7	6.5
2006年度	6.7				

セグメント内シェア

(単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期
2004年度	51.7	51.1	52.0	52.5
2005年度	45.1	34.4	34.9	35.1
2006年度	35.0			
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期
2004年度	33.2	32.4	33.8	34.4
2005年度	34.7	34.4	34.9	35.1
2006年度	35.0			

3. 四半期別300円以上製品セグメントシェア

JT 300円以上製品市場シェア

(単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	11.7	11.8	11.5	12.1	11.8
2005年度	8.8	5.1	5.4	5.9	6.3
2006年度	5.7				
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	5.0	5.1	4.8	5.1	5.0
2005年度	5.1	5.2	5.4	5.9	5.4
2006年度	5.7				

セグメント内シェア

(単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期
2004年度	53.9	53.8	52.8	53.6
2005年度	39.1	22.2	23.1	24.5
2006年度	24.3			
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期
2004年度	23.2	23.0	22.2	22.8
2005年度	22.6	22.3	23.2	24.5
2006年度	24.3			

4. 四半期別D-spec製品シェア

(単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	0.91	0.95	0.90	0.94	0.93
2005年度	0.91	1.24	1.78	3.12	1.72
2006年度	4.12				
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	2.81	2.83	2.82	2.96	2.85
2005年度	2.93	3.20	3.59	4.19	3.46
2006年度	4.12				

* ピアニッシモ及びプレミアムは2006年3月より、D-spec製品として販売しており、「新ベース」は上記銘柄を過去の実績に加え、算出したものです。

医薬事業 臨床開発品目（2006年7月31日現在）

開発名	開発段階	適応症	作用機序	詳細	権利
JTT-705 (経口)	国内：Phase1	脂質代謝異常	CETP（コレステリルエステル転送蛋白）阻害	HDL（高密度リポ蛋白：善玉コレステロール）中のコレステロールをLDL（低密度リポ蛋白：悪玉コレステロール）に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる脂質代謝異常治療薬	スイスのロシュ社と日本・韓国を除く全世界の開発・商業化権を導出するライセンス契約を締結。（2004年10月）
JTT-130 (経口)	国内：Phase2 海外：Phase2	高脂血症	MTP（ミクロソームトリグリセリド転送蛋白）阻害	MTPを阻害することにより、コレステロール及びトリグリセリドの吸収を抑制し、脂質値を低下させる高脂血症治療薬	
JTK-303 (経口)	国内：Phase1	抗HIV	インテグラーゼ阻害	HIV（ヒト免疫不全ウイルス）の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害するインテグラーゼ阻害剤	米国ギリアド・サイエンシズ社と日本を除く全世界の開発・商業化権を導出するライセンス契約を締結（2005年3月）
JTT-302 (経口)	海外：Phase1	脂質代謝異常	CETP（コレステリルエステル転送蛋白）阻害	HDL（高密度リポ蛋白：善玉コレステロール）中のコレステロールをLDL（低密度リポ蛋白：悪玉コレステロール）に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる脂質代謝異常治療薬	
JTT-305 (経口)	国内：Phase1 海外：Phase1	骨粗鬆症	CaSR（カルシウム感知受容体）拮抗	副甲状腺細胞のCaSRに作用し、血中Caの感知を阻害することで副甲状腺ホルモンの分泌を促し、骨の代謝回転を高めることにより骨形成を促進する骨粗鬆症治療薬	
JTT-551 (経口)	国内：Phase1	2型糖尿病	PTP1B（チロシン脱リン酸化酵素1B）阻害	インスリンシグナル伝達を負に制御するPTP1Bを阻害することにより、インスリンの作用を増強し、血糖を低下させる糖尿病治療薬	
JTT-552 (経口)	国内：Phase1	高尿酸血症	URAT1（尿酸トランスポーター1）阻害	腎臓における尿酸の再吸収に関するURAT1の働きを阻害することにより、尿中への尿酸排泄を促進させ、血中尿酸値を低下させる高尿酸血症治療薬	

前回（2006年4月28日）公表時からの変更点：JTT-130 海外臨床試験 Phase1からPhase2へ移行

JTT-305 海外臨床入り

JTT-552 国内臨床入り